

事務事業名		桜並木整備事業		会計	一般会計		実施区分		
H28担当課等名		地域計画課		事業種別	政策	開始	25	終了	30
H28係等名		調査計画係		H27係等名		調査計画係			
基本計画上の位置づけ		政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり					
		施策	84	活気ある街づくりの推進					
目的	対象(誰・何を)	市街地に居住する人、通行する車両、市民、観光客。					指標名及び単位		27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	安全で快適に通行でき、市街地の賑わいを創出する。					市民数:人		101743
	向上させたい上位施策の成果指標	中心市街地の人口							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	進捗率:%(当年度までの実施済額/全体事業費)			2	2	5	5	
	定性目標								
事業概要	<p>中心市街地活性化基本計画に基づき、桜並木通り(市道林檎並木大宮線)の歩道・車道・側溝など改修整備を行う。                  また、老朽化したサクラの街路樹について、維持更新を適正に行い、りんご並木との連続性を高め、回遊性を図りながら、市街地の集客と賑わいを創出する。                  計画延長L=800m</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	整備に向けた地元協議、必要な調査				1 開催数		1 4回		
	1 地域検討会の開催 (地元協議による計画の合意形成)				2 業務数		2 1式		
	2 概略設計 (1/1,000図面にて道路計画の比較案を作成)				3 診断本数		3 57本		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		2,495	6,659	5,962	10,199	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備) (交付対象事業全体で4.5/10) (地)合併特例(充当率95%)			
国庫支出金					2,819				
県支出金					3,400				
起債									
その他		500							
一般財源		1,995	6,659	5,962	3,980				
人件費計(千円)②		865		0					
正規職員所要時間		230							
臨時職員所要時間		40							
総事業費①+②		3,360	6,659	5,962	10,199				
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>「桜並木の再整備に関する提言」を、平成24年度に地域から受け、中心市街地の緑のネットワークとして一体的なコンセプトの中で、市としての整備のあり方を検討する庁内会議を実施した。                  並木を活用したまちづくりを踏まえた整備のあり方を、沿道地域の方と検討した。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	H26に実施している地域が望むまちづくりのあり方を踏まえ、まちづくりの核となる道路計画とし、桜の保全と更新を考慮した道路整備を行う必要がある。							
	②改革提案	地域が望む「道路を活用したまちづくり」を踏まえた計画とするべく、地元をはじめとする市民と協議し合意形成を図る。							